

通級指導教室だより



ポラリス



新 座 市 立 東 野 小 学 校

通級指導教室ふらねっとルーム

令和7年度 第5号 10月1日



昼間の暑さは続いていても、朝晩の涼しさに秋の訪れを感じる季節となりました。運動会の練習も始まり、まさに行事の続く2学期といった日々です。そんな中、子供たちからは期待と心配の声も聞こえてきます。指示を聞き取り、大勢の人数に合わせて動く、じっと待つ、適切な声で発表する…これらの一つ一つならできるけど、集団で一斉に、となると思うように力を発揮できない場面もあるかもしれません。スケジュールの可視化や、練習の参加の仕方を選択肢を設ける等、日ごろから先生方にはあたたかな工夫をいただき、改めてお礼を申し上げます。通級でも、運動会の目的や仲間と協力する方法、休憩や見学の仕方などを取り上げていく予定です。気になる様子があれば、引き続きファイルやお電話でお知らせください。

10月の予定

在籍校の行事やそのための練習、学級活動などがある場合はそちらを優先してください。

- 10月 8日(水) 東野小就学時健診のため午後休み
- 10月22日(水) 担当出張のため午後休み
- 10月25日(土) 東野小学校 運動会
- 10月27日(月) 東野小学校 振替休業日 (お休みです)
- 10月28日(火) 東野小学校 運動会予備日

(25日に実施できなかった場合、この日はお休みです)



練習が苦手…？



大きな行事となると、先生方の雰囲気もいつもと違います。それに加え、急な時間割変更、音量など、状況の変化にとまどう子も少なくありません。そして、「みんなと同じにできなかったらどうしよう」「負けるのがいや」等の心配や不安で疲れが出る子、また「何回も同じ練習をするのがつらい」と訴える子もいます。「練習が苦手ようだ」といっても、その背景にあるものは本当に様々です。決して、自分勝手な思いで行動しているわけではありません。

子供たちは、この時間に目指すゴールは何か、どんなふうにならねばよいかわかる」ことで安心できるよう。安心のための工夫はいろいろありますが、例えば…

- ・ 視線を向けさせる

→大きな集団になると、先生方の指示はますます「自分への言葉」と意識しづらいので、まず視線を対象の人や物に向けさせてから、短く、具体的に指示や説明を。目に入ったものが最優先になりがちで、聞いたことを覚えながら最後まで行動することに弱さがあることもあるからです。空間の把握も難しいときがあるので、目印や合言葉もよいかもしれません。

- ・ 皮肉や例えは避けて

→「そんなふうでは本番に出られない」といった言葉は、子供によっては突然の宣告（「そんなふう」って何？もう本番に出られないの？？）のように感じ、字義通りに受け取って混乱してしまうこともありました。

様々な感覚の問題から生じる「じつとできない辛さ」を訴える子もいるかもしれません。担任の先生とも相談してご理解いただき、「目立たない身体の動かし方」（手のストレッチ、頭を少しだけかく等）を通級で練習して当日を迎えた子もいます。一人一人に合ったやり方で行事に向かうことができるよう、これからも支援していきたいと思います。